

## ジンバブエ経済（経済情報の週間とりまとめ：2月第3週目）

- 1 新制度導入で葉タバコの価格を公正化
- 2 インビクタス社がガス採掘プロジェクトで環境社会影響評価の承認を取得
- 3 ナミブ・ミネラルズ社が金鉱山に3億米ドルの設備投資を計画
- 4（論説）大手小売店が閉店する理由
  - （1）密輸品の取り締まり強化による正規小売店の商品調達困難
  - （2）生産能力の不足と高い輸入依存、政府による産業促進の失敗
- 5 政府が産業向け燃料の直接輸入を検討

### 1 新制度導入で葉タバコの価格を公正化

タバコ産業マーケティング委員会（TIMB）は、より公正な最低価格を確立することを目的とした契約タバコ販売の新制度を開発した。この制度の下では、オークション会場と契約の両方で販売されたすべての等級のタバコの平均価格に基づいて翌日の最低価格を決定する。3月5日に開始する販売シーズンに導入される予定。

ジンバブエのタバコ販売制度は、オークションと契約販売の二重構造で運営されている。オークション制度では、買い手は農家が独自に資金を調達して生産したタバコに入札する。一方、契約制度では、業者が契約農家から直接タバコを購入する。これまで、最低価格はオークション方式で販売されるタバコの平均価格のみで決定されていた。しかし、オークション販売は国内のタバコ生産量のわずか5%であり、小規模なオークション市場ははるかに大規模な契約市場の価格に不釣り合いな影響を与える状況であった。さらに、オークション価格は、高品質のタバコであっても安い場合が多い。

新しい価格設定システムにより、シーズンが進むにつれてタバコ価格が安定し、場合によっては上昇することが期待されている。これは、オークション価格が通常下落し、その後契約販売価格も下落した以前のシステムとは対照的である。タバコ農家に公正な価格設定を保証するために、大手商人と契約している代理会社（surrogate companies）は、競争力のある価格を農家に提示する必要がある。以前は、これらの代理会社は大手商人よりも低い金額を支払うことが多かった。

新しい価格設定システムは、特にブラジルとインドからの大量のタバコが世界価格に影響を与えると予想されることを考えると、農家を潜在的な価格下落から保護するのにも役立つ。2024年の世界市場は品不足により価格が上昇したが、今年の市場はより目が肥え、低品質のタバコにプレミアム価格を提示する可能性は低くなると予想される。マチャイレ TIMB 暫定 CEO は、農家がタバコを正しく等級付けし、等級の混在による低価格化を回避するために、より多くのトレーニングと普及サービスが必要だと述べた。（16日付サンデーメール紙ビジネス1面）

### 2 インビクタス社がガス採掘プロジェクトで環境社会影響評価の承認を取得

インビクタス・エナジー社（Invictus Energy）は、環境管理局（EMA）が、ジンバブエ北部のカボラ・バッサ盆地における石油・ガスプロジェクトの環境社会影響評価（ESIA）

を承認したと発表した。ガス製品のパイロット生産を開始し、商業化する許可を得たことになる。インビクタス社のマクミラン社長は、今後はパイロット生産計画を最終決定し、追加の潜在的な供給パートナーとの協議を進めていくと述べた。インビクタス社によれば、ESIA 承認は、ユーレカ金鉱ガス発電プロジェクト (Eureka Gold Mine gas-to-power project) を含む生産活動の開始に向けた極めて重要なステップとなる。この発電プロジェクトは、ダラグリオ社 (Dallaglio、ユーレカ鉱山の所有者) およびヒモインサ社 (Himoinsa Southern Africa、ユーレカの発電プロバイダー) と共同で開発されており、ガス資源を活用して、信頼性が高く費用効率の高い電力を鉱山に供給する。(18 日付ヘラルド紙ビジネス 1 面)

### 3 ナミブ・ミネラルズ社が金鉱山に 3 億米ドルの設備投資を計画

ナミブ・ミネラルズ社 (Namib Minerals) のタル CEO によると、同社はレッドウィング金鉱山 (Redwing Gold Mine) とマゾウェ金鉱山 (Mazowe Gold Mine) の操業拡大に伴い、今後 3 年間 (2025 年から 2027 年) で 3 億米ドルの設備投資を行う予定だという。ナミブ社は、メタロン・コーポレーション (Metallon Corporation) と米ヘネシー・キャピタル・インベストメント・コーポレーション VI (Hennessy Capital Investment Corp. VI) の合弁企業で、ジンバブエでレッドウィング、マゾウェ、ハウ (How Gold Mine) の 3 つの鉱山を所有し、現地子会社のブラワヨ鉱業社 (Bulawayo Mining Company Limited) を通じて鉱山を管理している。ハウ金鉱山はナミブ社の主力鉱山であり、同社は第 3 半期までに製錬能力を 36% 近く増やして月産 55 キログラムにすることを計画している。(21 日付インディペンデント紙ビジネス 1 面)

### 4 (論説) 大手小売店が閉店する理由

#### (1) 密輸品の取り締まり強化による正規小売店の商品調達困難

2025 年度国家予算の歳入対策に含まれる、税制と密輸防止措置の発表から 1 か月以内に、一部の小売店は在庫補充と供給の課題に直面し、全国各地の支店のいくつかを閉鎖し始めた。影響を受けた小売店の中で注目すべきは、OK ジンバブエ、N リチャーズ、スパー、そしてそれほどではないがピクン・ペイである。チョッピーズはすでに撤退した。これらの突然の小売店閉店の原因は何なのか。経済学者やビジネスアナリストは、現地通貨ジンバブエ・ゴールド (ZiG) や為替レートの変動を挙げるが、これらは困難な事業環境を生み出しているものの、予算発表後の小売業の閉店を引き起こしたとは考えられない。

正規小売店は、密輸によって商品を違法に輸入する「ランナー」や商品ブローカーから商品を仕入れていた。ディーラーらは商品をジンバブエに密輸し、小売店に流通させることで関税を逃れていた。しかし 2025 年度国家予算では、税制の抜け穴を塞ぎ、密輸防止策を導入した。商品ディーラーは逮捕され、密輸品を小売市場に流通させることはできなくなった。1 月 31 日、ヌーベ財務・経済開発・投資促進大臣は、あたかも正規小売業の閉鎖が非正規部門によって引き起こされているかのように、「経済の非正規化に対処するための措置」を発表したが、非正規化はこれとは全く関係ない。正規小売店の閉鎖は、企業がいかに悪質な取引手段に頼らなければ運営できないかを示しているだけ

だ。

小売店には国内で製造された製品を購入し、国内生産を促進して雇用を創出するという選択肢がある。通貨の弱さや為替レートの変動、高く逆進的な税率への対処に加え、政府は国内生産を刺激するための措置を導入しなければならない。(21 日付インディペンデント紙ビジネス 1 面論説、マジ・マレフ経済ガバナンス研究所、マシャカダ事務局長)

## (2) 生産能力の不足と高い輸入依存、政府による産業促進の失敗

正規小売店の閉鎖は主に密輸取り締まりに起因するという主張(上記)は説得力があるが、政府が強固な産業部門を確立できなかったという重要な要素を見落としている。ジンバブエの経済は、国内の生産能力不足により、輸入に過度に依存するようになった。この依存は持続不可能だけでなく、特に輸入のための外貨調達に苦勞する企業にとって大きな脆弱性を招く。外貨にアクセスできない場合、企業は在庫と競争力を維持する上で大きな障害に直面する。また、ジンバブエでの事業活動に伴うコストは電力不足等により増大しており、密輸がより魅力的な選択肢となる環境が生まれている。さらに、大型スーパーマーケットのすぐ前で営業している非正規小売業者は、税金や規制を逃れることが多く、雇用や税収を通じて経済に大きく貢献している大企業を圧迫している。小売業者の現地生産品への移行を促す環境を作る政府の役割には、税制優遇、外貨へのアクセス、インフラの改善など、国内産業を支援する政策の実施が含まれる。政府は、特に正規の小売業者と直接競合する小売店を規制することによって、非正規市場の競争上の優位性を排除するための積極的な措置を講じなければならない。(21 日付インディペンデント紙ビジネス 1 面論説、ザワレ・コンサルタンツ)

## 5 政府が産業向け燃料の直接輸入を検討

モヨ・エネルギー・電力開発大臣は、19 日にブラワヨで開催された国家競争力委員会(NCC)の初の競争力サミットで、政府は国内企業の生産コストを下げ競争力を高めるために、国内の主要経済部門向けの燃料を直接調達する予定であると述べた。

ジンバブエ・エネルギー規制局(ZERA)は、小売価格を設定する際に、国際原油価格、輸送費、米ドルと現地通貨の為替レート、税金、エタノール混合費、販売業者のマージンなどの要素を考慮している。価格変動は、主に世界の原油価格と為替レートの変動によって引き起こされる。地域諸国よりも比較的高い燃料価格は、自国生産品の国内外での競争力に悪影響を与える。モヨ大臣は、ジンバブエは国際原油価格などの外部要因は制御できないが、政府は輸入関税や輸送費等の内部要因に焦点を当てるだろうと述べた。そして、既存の燃料輸入業者の役割を認めつつ、政府の目標は「予測可能」で競争力のある価格の燃料を経済に提供することだと述べた。

なお、ZERA は、2 月の燃料価格の上限をディーゼル燃料で 1 リットル当たり 1.58 米ドル(41.58ZiG)、混合ガソリン(エタノール 15%)で 1 リットル当たり 1.53 米ドル(40.50ZiG)に設定した。一方、ザンビアのエネルギー規制委員会(ERB)は 2 月のディーゼル価格を 1 リットルあたり 1.16 米ドル、ガソリン価格を 1 リットルあたり 1.24 米ドルに設定した。(22 日付ヘラルド紙 1 面)